



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年6月28日

我孫子市小中一貫教育だより

第335号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「はたらく人とわたしたちの暮らし」

6月24日、我孫子第四小学校の3年生社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」の単元で Abi-キャリアの授業が行われました。農家の人についての学習のまとめとして、農家の方（そうま農園さん）に來校していただき、お話を伺いました。インタビューを通して「我孫子の農業」や「働くこと」についての考えを深めることがねらいです。



児童たちは、授業が始まる前から農家の方が持ってきてくださった野菜に興味津々。「人参に長い葉っぱがついているのを初めて見た！」という児童もいました。

農家の方に直接聞きたいことがたくさんあり、準備した約50の質問の中からどんどん質問をしました。「田んぼはどんなところがいいの？」「どんな野菜をつくっているの？」「売れ残った野菜はどうするのか？」「野菜が売れたお金で何をかうのか？」など、すべての質問に丁寧に答えてくださる農家の方の話を真剣に聞く児童たちの姿はとても立派でした。

また、「働いていて嬉しいことは？」や、「大変なことは？」に対する質問には、働き甲斐や苦労をたくさん語っていただき、働くことの意味についても考えられました。次回の授業では、単元を通して学んだことを振り返る予定です。身近な人々によって自分たちの暮らしが支えられていることを実感しながら学習に取り組んでいる素敵な授業でした。

Abi-ふるさと「農家の仕事」

6月26日、新木小学校の3年生社会科「農家の仕事」で Abi-ふるさとの授業が展開されました。近隣の農家の方から、農業を営むうえでの努力や工夫について学ぶことが目的です。

前日に、畑を訪れたときのことを思い出しながら授業が始まりました。ワークシートには、インタビューの内容がびっしりと書き込まれており、農家の方と直接話をしたことで子ども達のなかに色々な発見や驚きがあったことを感じました。

続いて、「どのような工夫や努力をして野菜を作っているのだろうか？」という学習課題を全体で共有し、ワークシートに記載してある内容を「工夫」と「努力」に分けました。個々で考えた後、ペアで伝え合い、全体で発表しました。子ども達は、自分が聞いたり調べたりしたことを発言したくて仕方がないといった様子でした。担任は、追加発問をしながら子どもたちの発言を繋ぎ、農家の方の「おいしい野菜を作りたい」という本質的な願いに対する理解を深めていきました。資料として用意していた写真も学習の効果を高めていました。

最後に、自分の言葉で今日のまとめを記入して、発表しました。答えた子が次の子を指名するという形で 10 人ほどの子が発言しました。どの子も自信をもって堂々と発言していた様子から、ねらいにしっかりと迫れた授業であったことを実感しました。

